

1, 公立図書館の振興・発展に関する政策についてお考えをお聞かせください

回答

日頃からの図書館の振興・発展へのご活動に敬意を表します。

日本共産党は、公立図書館を、国民の知る権利、学ぶ権利にこたえるための、基本的な機関として重視してきました。図書館に関する考えは、「図書館サービスの後退、『委託』を許さず、身近に使いやすい図書館を」にまとめ発表していますので、ご覧ください。

https://www.jcp.or.jp/web_policy/2022/06/202207-bunya57.html

2, 「活字文化議員連盟・公共図書館プロジェクト」の「5つの提言」についてお考えをお聞かせください。

回答

この提言は、基本的に現在の図書館を発展させていく内容で重要であり、私たちの政策とも重なるところが大きいと考えています。

同時に、「公共図書館の将来」を展望するうえでは、図書館予算の抜本的な増額、公立図書館の増設など、国際的にみても大変貧しい図書館環境を転換することは欠かせません。答申にふれられている、指定管理者制度の問題解消、書誌データの一元化、地域書店の活性化や司書の専門性の発揮のうえでも、この点が提言されていないことは残念な点です。

また提言では首長の役割にふれています。首長の役割は図書館の重要性や住民の図書館へのニーズを深く認識し、図書館のための予算を確保することにあると考えます。この点で首長が積極的なイニシアティブをとることを大いに期待すると同時に、図書館の管理運営については政治からの独立性の確保のため、教育委員会のもとに引き続き置くことが重要だと考えます。

「新しい評価指標づくり」については、来館者数重視などで長期的に見た図書館の役割を損ねないよう、図書館関係者と住民の意見がきちんと反映される、慎重な検討が重要だと考えます。

日本共産党中央委員会 文教委員会